

Hitachi Koki

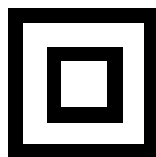
日立テクス用ドライバ

6 mm W 6VH

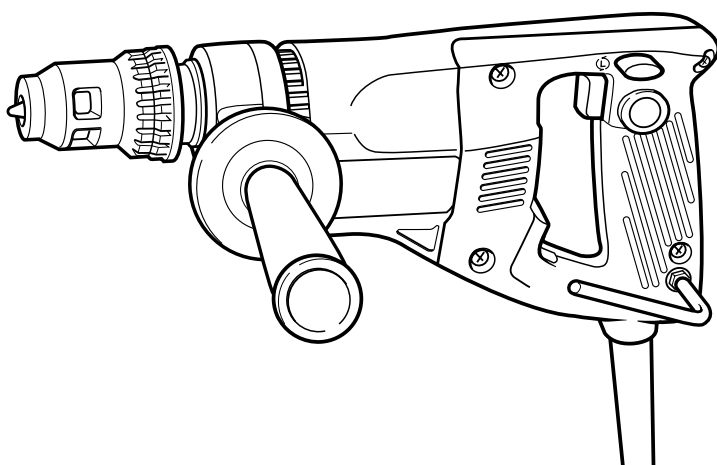
8 mm W 8V

取扱説明書

このたびは日立テクス用ドライバをお買い上げいただき、ありがとうございました。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。



二重絶縁



W 6VH

HITACHI

目 次

ページ

電動工具の安全上のご注意	2
テクス用ドライバの使用上のご注意	5
各 部 の 名 称	6
仕 様	7
標 準 付 属 品	7
別 売 部 品	8
用 途	9
作 業 前 の 準 備	9
ご 使 用 前 に	10
ビットの取付け・取りはずし	12
フックの取付け方	13
使 い 方	14
保 守 ・ 点 検	15
ご修理のときは	18
全国営業拠点	裏表紙

警告, 注意, 注 の意味について

ご使用上の注意事項は「 警告」, 「 注意」, 「 注」に区分しており, それぞれ次の意味を表します。

 警告 : 誤った取扱いをしたときに, 使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

 注意 : 誤った取扱いをしたときに, 使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお, 「 注意」に記載した事項でも, 状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので, 必ず守ってください。

 注 : 製品のすえ付け, 操作, メンテナンスに関する重要なお注意。

電動工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。



警 告

- ① 作業場は、いつもきれいに保ってください。
 - ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② 作業場の周囲状況も考慮してください。
 - 電動工具は、雨の中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
 - 作業場は十分に明るくしてください。
 - 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
- ③ 感電に注意してください。
 - 電動工具を使用中、身体を、アース（接地）されているものに接触させないようにしてください。
(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)
- ④ 子供を近づけないでください。
 - 作業者以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
 - 作業者以外、作業場へ近づけないでください。
- ⑤ 使用しない場合は、きちんと保管してください。
 - 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。
- ⑥ 無理して使用しないでください。
 - 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
- ⑦ 作業に合った電動工具を使用してください。
 - 小形の電動工具やアタッチメントは、大形の電動工具で行う作業には使用しないでください。
 - 指定された用途以外に使用しないでください。
- ⑧ きちんとした服装で作業してください。
 - だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので、着用しないでください。
 - 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。
 - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。



警 告

- ⑨ 保護メガネを使用してください。
 - 作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
- ⑩ 防音保護具を着用してください。
 - 騒音の大きい作業では、耳栓、イヤマフなどの防音保護具を着用してください。
- ⑪ コードを乱暴に扱わないでください。
 - コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
 - コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
- ⑫ 加工する物をしっかりと固定してください。
 - 加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。
- ⑬ 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
- ⑭ 電動工具は、注意深く手入れをしてください。
 - 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
 - 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
 - 継ぎ(延長)コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
 - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態を保ち、油やグリースが付かないようにしてください。
- ⑮ 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、さし込みプラグを電源から抜いてください。
 - 使用しない、または、修理する場合。
 - 刃物、トイシ、ビットなどの付属品を交換する場合。
 - その他、危険が予想される場合。
- ⑯ 調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。
 - 電源を入れる前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。
- ⑰ 不意な始動は避けてください。
 - 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
 - さし込みプラグを電源にさし込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
- ⑱ 屋外使用に合った継ぎ(延長)コードを使用してください。
 - 屋外で使用する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの継ぎ(延長)コードを使用してください。



警 告

⑪ 油断しないで十分注意して作業を行ってください。

- 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- 常識を働かせてください。
- 疲れているときは、使用しないでください。

⑫ 損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また、所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
- スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。

⑬ 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- この取扱説明書および弊社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因になる恐れがあるので、使用しないでください。

⑭ 電動工具の修理は、専門店に依頼してください。

- この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い求めの販売店に依頼してください。
修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になります。

回 二重絶縁について

電気が流れる導体部と人の触れる外枠部の間が、二つの絶縁物で二重に絶縁されている電動工具であり、この製品には“回”マークを表示しています。

二重絶縁工具は、感電に対し安全性が高められています。

異なった部品と交換したり、間違って組立てたりすると、二重絶縁構造ではなくなり、安全でなくなる場合があります。

電気系統の分解・組立や部品の交換・修理は、お買い求めの販売店に依頼してください。

テクス用ドライバの使用上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、テクス用ドライバとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。



警 告

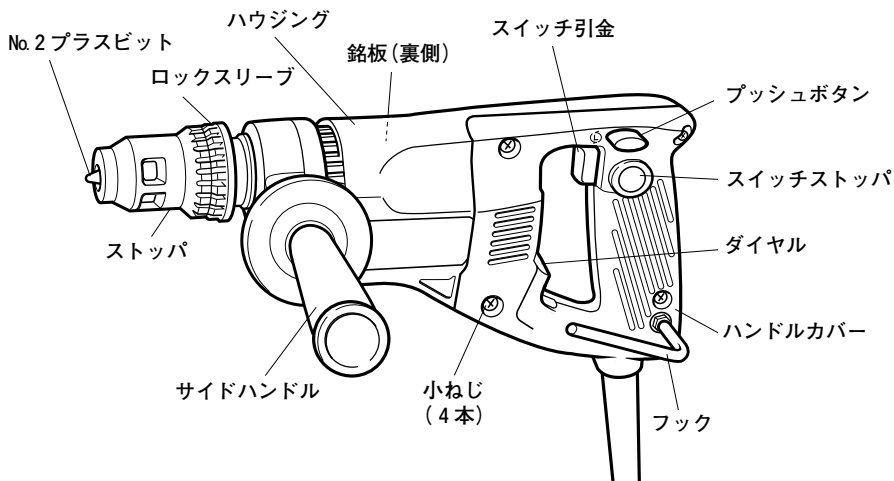
- ① 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に速くなり、けがの原因になります。
- ② 作業する箇所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。
埋設物があると工具が触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり、事故の原因になります。
- ③ 使用中、振り回されないようにサイドハンドルを付け、本体を両手で確実に保持してください。
確実に保持していないと、けがの原因になります。
- ④ 使用中は、ビットなどの回転部に手や顔などを近づけないでください。
けがの原因になります。
- ⑤ 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音や異常振動がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。
そのまま使用していると、けがの原因になります。
- ⑥ 誤って落としたり、ぶつけたときは、機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。



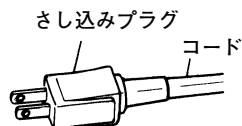
注 意

- ① 工具類(ビットなど)や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。
- ② 締付け深さ調整時は、スイッチを切ってください。
回転させたまま行くと、けがの原因になります。
- ③ 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。
また、コードを引っ掛けたりしないでください。
材料や機体などを落としたときなど、事故の原因になります。
- ④ 回転させたまま、台や床などに放置しないでください。
けがの原因になります。

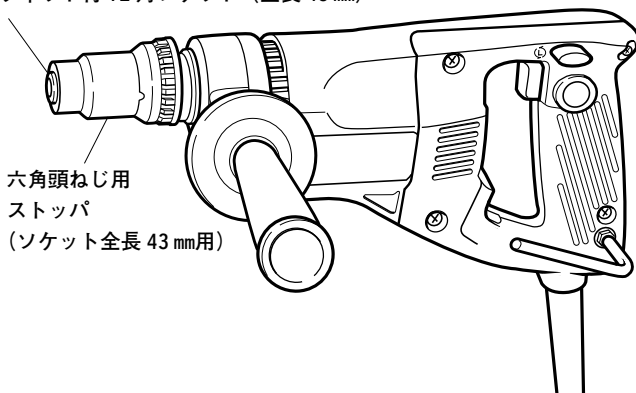
各部の名称



W 6 V H 図 1-1



6 mmマグネット付12角ソケット (全長43 mm)

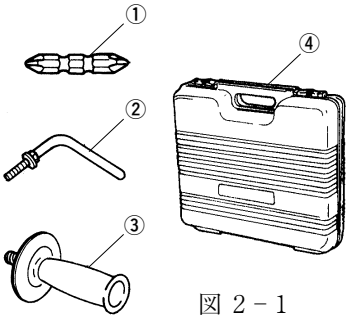
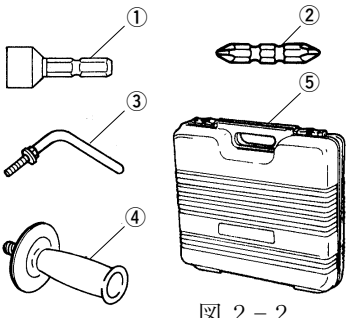


W 8 V 図 1-2

仕 様

形 名	W 6 V H	W 8 V
項 目		
能 力	6 mm	8 mm
無 負 荷 回 転 数	1000~2500 min ⁻¹ {回/分}	700~1700 min ⁻¹ {回/分}
使 用 電 源	単相交流 50 / 60 Hz 共用 電圧 100 V	
モ ー タ ー	単相直巻整流子モーター	
全 負 荷 電 流	6 A	
消 費 電 力	570 W	
質 量	1.5 kg (コードを除く)	
コ ー ド	2 心キャブタイヤコード 2.5 m	

標準付属品

W 6 V H	 ① No. 2 プラスビット…………… 1 個 (本体に組込まれています。) ② フック…………… 1 個 ③ サイドハンドル…………… 1 個 ④ プラスチックケース……… 1 個 図 2 - 1
W 8 V	 ① 6 mm マグネット付 12 角ソケット (全長 43mm)…………… 1 個 (本体に組込まれています。) ② No. 3 プラスビット…………… 1 個 ③ フック…………… 1 個 ④ サイドハンドル…………… 1 個 ⑤ プラスチックケース……… 1 個 図 2 - 2

別売部品

……………（別売部品は生産を打ち切る場合があります。）

1. プラスビット（図3-1）

No.2（コードNo.983005），No.3（コードNo.983010）

2. ストップ…六角頭テクスねじ用（図3-2，図3-3）

ソケット全長43mm用（コードNo.307315），

ソケット全長55mm用（コードNo.305275）

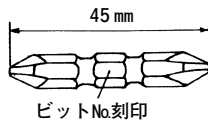


図3-1

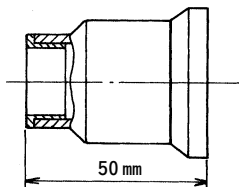


図3-2

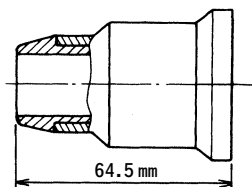


図3-3

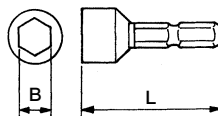


図3-4

3. 12角ソケット，ヘグザゴンソケット…六角頭テクスねじ用（図3-4）

名	称	コードNo	L(mm)	B(mm)	使用するストップ
マグネット付	4 mm 12角ソケット	307316	43	6.4	コードNo.307315 図3-2 (全長50 mm)
	5 mm 12角ソケット	307317		8	
	6 mm 12角ソケット	307318		9.6	
	8 mm 12角ソケット	307319		13	
マグネット不付	4 mm ヘグザゴンソケット	955676	55	7	コードNo.305275 図3-3 (全長64.5 mm)
	5 mm ヘグザゴンソケット	955677		8	
	6 mm ヘグザゴンソケット	955242		9.7	

付属品の使い方

表 1

下表中(標)は標準付属品

ね じ の 種 類		ビット，ソケットの種類		ストップの種類	
	4 mm 木ねじ	No.2 プラスビット (W6VH:標)		十字穴ねじ用 ストップ (W6VH:標)	
	4 mm テクスねじ				
	5 mm テクスねじ				
	6 mm テクスねじ				
	5 mm～6 mm 木ねじ	No.3 プラスビット (W8V:標)			
	4 mm 六角頭テクスねじ	4 mm マグネット付 12角ソケット (全長 43 mm)		六角頭ねじ用 ストップ (ソケット全長 43 mm 用) (W8V:標)	
	5 mm 六角頭テクスねじ	5 mm マグネット付 12角ソケット (全長 43 mm)			
	6 mm 六角頭テクスねじ	6 mm マグネット付 12角ソケット (全長 43 mm) (W8V:標)			
	8 mm 六角頭テクスねじ	8 mm マグネット付 12角ソケット (全長 43 mm) (8 mm は W8V だけ使用可能)			
	4 mm 六角頭テクスねじ	4 mm ヘグザゴンソケット (全長 55 mm)		六角頭ねじ用 ストップ (ソケット全長 55 mm 用)	
	5 mm 六角頭テクスねじ	5 mm ヘグザゴンソケット (全長 55 mm)			
	6 mm 六角頭テクスねじ	6 mm ヘグザゴンソケット (全長 55 mm)			

4. フック組 （図 3－5）

（コードNo.313283）



図 3－5

5. M 8 用折板ボルトアタッチメント〔適用機種W 8 V〕

屋根材である折板（波板）の取付けに使用されている折板ボルト（中間ボルト）の締付け，ゆるめ作業用にご使用ください。使いかたは，M 8 用折板ボルトアタッチメントに添付している説明書をよくお読みください。

品 名	コードNo	形 状
M 8 用 折 板 ボ ル ト ア タ ャ ャ メ ン ト	308490	Ⓐ + Ⓑ セット
M 8 用 ソ ケ ャ ト ス リ ー プ	308488	Ⓐ
M 8 用 ド ラ イ ブ ソ ケ ャ ト	308489	Ⓑ

用 途

○ テクスねじ，木ねじの締付け。

作業前の準備

作業前に次の準備をすませてください。

1. 継ぎ（延長）コード……………

 **警 告**

● 継ぎ（延長）コードは，損傷のないものを使用してください。

電源の位置がはなれていて継ぎコードが必要なときは，製品を最高の能率で故障なくご使用いただくため，電流を流すのに十分な太さのものをできるだけ短くしてご使用ください。

導体公称断面積	最大長さ
1.25 mm ²	15 m
2 mm ²	25 m
3.5 mm ²	45 m

左の表は，使用できるコードの太さ（導体公称断面積）とその最大長さを示します。

2. 作業環境の整備・確認…………

作業をする場所が注意事項にかかげられているような適切な状態になっているかどうか確認してください。

○騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所に迷惑をかけないように、規制値以下でご使用になることが必要です。状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

ご使用前に



警 告

- ご使用前に次のことを確認してください。1～4項については、さし込みプラグを電源にさし込む前に確認してください。

1. 使用電源を確かめる…………

必ず銘板に表示してある電源でご使用ください。表示を超える電圧で使用するとモーターの回転数が異常に速くなり、機体が破壊する恐れがあります。

また、直流電源で使用しないでください。製品の損傷を生じるだけでなく、事故の原因になります。

2. スイッチが切れていることを確かめる…………

スイッチが入っているのを知らずにさし込みプラグを電源にさし込むと、不意に起動し、思わぬ事故の原因になります。スイッチはスイッチ引金(図1-1参照)を引くと入り、はなすと切れます。

スイッチの引金を引き、はなしたとき引金に戻ることを必ず確認してください。

3. 締付け深さの調整…………

ビットにねじの頭を入れ、ロックスリーブを次ページの図の矢印方向に引きます。ストッパを回して、ストッパの先端とねじ頭との距離を調整し、締付け深さを決めます。(ストッパを図のA側に回すとビットはへこみ、B側に回すとビットは出張ります。)

(1) 十字穴テクスネジの場合

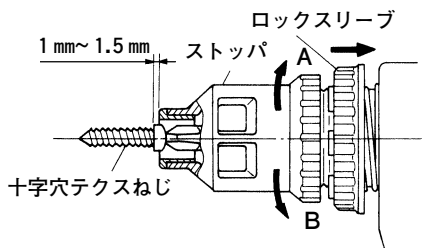


図 4

- ① ビットにテクスねじの頭を入れます。
- ② ストッパの先端とテクスねじ頭の下端との距離は1 mm ～ 1.5 mmを目安にし、調整します。
- ③ 数本試し締めし、ちょうどよい距離に微調整してください。

(2) 六角頭テクスネジの場合

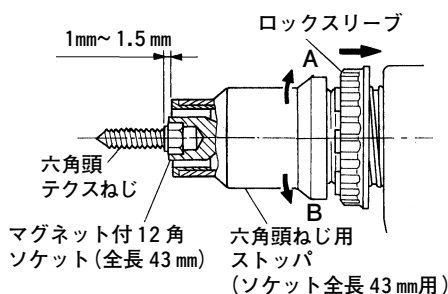


図 5

- ① マグネット付 12 角ソケットに六角頭テクスねじの頭を入れます。
- ② ストッパの先端と六角頭テクスねじ頭の下端との距離は1 mm ～ 1.5 mmを目安にし、調整します。
- ③ 数本試し締めし、ちょうどよい距離に微調整してください。

注) 別売部品のヘグザゴンソケット (全長 55 mm) と六角頭ねじ用ストッパ (ソケット全長 55 mm 用) を使用するときも、同じように調整してください。

4. ビットの確認と交換 ………

本機には標準付属品としてW 6 V HはNo 2 プラスビット, W 8 Vは6 mm マグネット付 12 角ソケット (全長 43 mm) が組込まれております。8 ページの「付属品の使い方」表 1 を参照し、もし別のビットを取付ける必要がある場合、または、ビットの損傷により交換する必要がある場合は、次ページの「ビットの取付け・取りはずし」の項を参照し、ビットを交換してください。

注 ・必ずねじに合ったビットを使用してください。
ねじに合ったビットを使用しないと、ねじ頭部の十字溝とビットを傷める原因になるので注意してください。

5. 電源コンセントの点検 ………

さし込みプラグをさし込んだとき、ガタガタだったり、すぐ抜けるようでしたら修理が必要です。お近くの電気工事店などにご相談ください。
そのままお使いになりますと過熱して事故の原因になります。

ビットの取付け・取りはずし



警 告

- 万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、さし込みプラグを電源から抜いておいてください。

1. 取りはずし…………

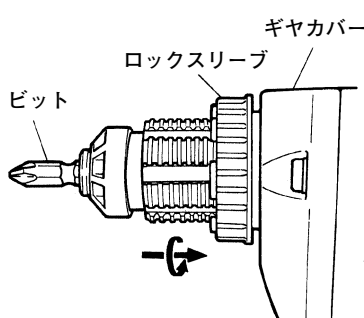


図 6

- (1) ロックスリーブを十分に引き (→), 左に回して (C) ギヤカバーに固定し、ロックスリーブをストッパ側へ戻らなくします。

この状態でストッパを本体前方向から見て、左に回し、取りはずします。(図6)

- (2) ビットの先を持って引張れば、ソケットにあるボールがビットからはずれ、引抜けます。

手で抜けない場合は、ペンチなどをご使用になってください。

2. 取付け…………

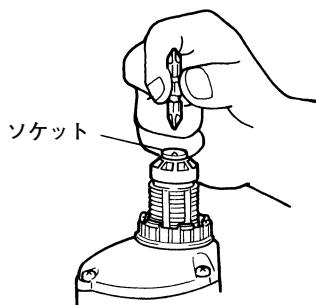


図 7

ビットをソケットの穴に合わせて十分に押し込みますと、ソケットにあるボールがビットの溝に落ちて固定されます。(図7)

フックの取付け方

(1) 標準付属品の場合

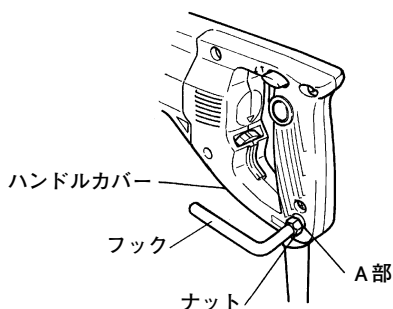


図 8 - 1

- ① フックを本体A部の穴にさし込み、時計方向に回します。

ナットがハンドルカバーの座面についていたらスパナでしっかり締付けます。

(図 8 - 1)

- ② フックは反対側にも取付けることができます。同じ手順で行ってください。
- ③ フックは腰ベルト、または最大径 28 mm までのパイプなどに掛けることができます。

(2) 別売部品の場合

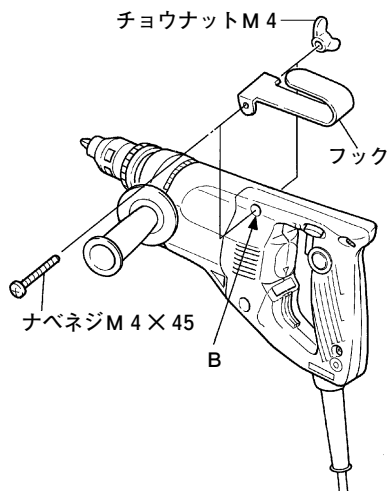


図 8 - 2

本体B部の小ネジ(1本)を取りはずし、フックを ナベネジM4×45とチョウナットM4で取付けます。フックは腰ベルト、または最大径 30 mm までのパイプなどに掛けることができます。(図 8 - 2)

使 い 方

1. スイッチの操作……………

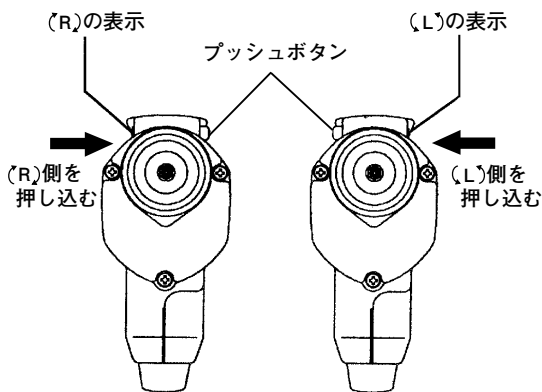
スイッチはスイッチ引金を引いてからスイッチストッパを押すと、指をはなしても入ったままになっており連続運転に便利です。切るときは再びスイッチ引金を引いてからはなしますとスイッチストッパははずれます。

2. 操作の仕方……………

スイッチを入れますとモーターが回りますが、それだけではビットは回りません。ビットの先をねじ頭部の溝に当て、本体ごと押しつけますと、ビットが回ってねじを締めます。

注 ・ねじを確実に取付けるには、ねじの十字穴に正しくビットをはめねじとビット(本体)を真直にして、取付面に対して垂直に押しつけてください。締め終りましたら、押しつける力をゆるめるとビットの回転が止まります。

3. 回転方向の切替え……………



○図9-1のようにプッシュボタンの(R)側を押すと先端工具はハンドル側から見て右に回り(正回転)、図9-2のように(L)側を押すと左に回ります(逆回転)。(R)(L)は外枠に表示しています。

〔本機を先端から見た図〕

図9-1 正回転

図9-2 逆回転

注 ・回転方向を変えるときは、必ずスイッチを切ってモーターの回転が止まってから、プッシュボタンを操作してください。スイッチを切らずに直接プッシュボタンを切替えると、故障の原因になります。

4. 回転数の調整……………

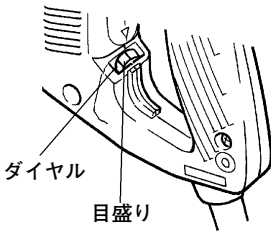


図 10

(1) 本機はビットの回転数を無段階に調整できる電子制御回路を内蔵しています。

ダイヤルの調整により、穴あけ材料、作業条件に合った回転数でご使用ください。

ダイヤルの目盛り「1」が最低速で、目盛り「5」が最高速です。(図10)

ダイヤルの目盛りが「1」のとき、電源事情などにより回転しなくなることがありますので、ご注意ください。

(2) 締付け材料と適正回転数の関係

締付け材料と適正回転数の関係は、作業条件、電源事情などによって多少異なります。

注 ・低速で、長い時間の連続作業をしますと、モーターに無理がかかり、故障の原因になります。ビットが停止するような無理な使い方は避けてください。

保守・点検



警告

・点検・手入れの際は、必ずスイッチを切り、さし込みプラグを電源から抜いておいてください。

1. ビットの点検……………

ビットの先端部が摩耗したり折損したものをそのままご使用になりますとねじ頭部を傷めますので早めに新品と交換してください。

2. 各部取付けねじの点検……………

各部取付けねじでゆるんでいるところがないかどうか定期的に点検してください。もしゆるんでいるところがありましたら締め直してください。

ゆるんだままお使いになりますと、けがなど事故の原因になります。

3. カーボンブラシの点検………

モーター部には、消耗品であるカーボンブラシを使用しております。

カーボンブラシの摩耗が大きくなりますと、モーターの故障の原因となりますので、長さが摩耗限度（5 mm）ぐらいになりましたら新品と交換してください。

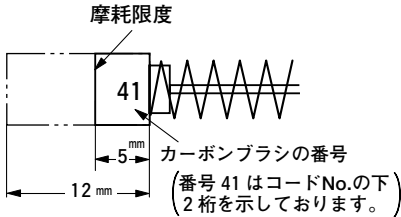


図 11

また、カーボンブラシはごみなどを取除いてきれいにし、ブラシホルダ内で自由にすべるようにしておいてください。

注 • 新品と交換の際は、必ず図示の番号（41）の日立カーボンブラシを使用してください。

交換方法

〈分解〉

(1) ハンドルカバー（図 1-1 参照）を締付けている小ねじ（4 本）をゆるめ、ハンドルカバーをはずします。

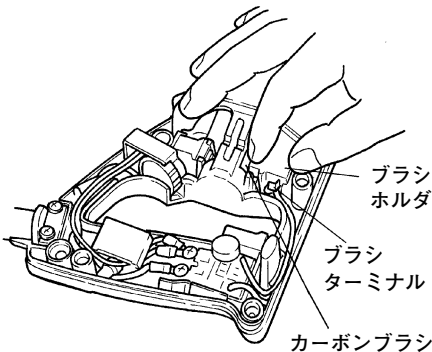


図 12

(2) ブラシホルダをドライバーの先などで持上げ、カーボンブラシを押さえながらブラシホルダをハウジングから取出します。（図 12）

この場合、リード線を伸ばしてしまったり、傷を付けないよう十分注意してください。

(3) ブラシターミナルをブラシホルダから抜き取ります。

(4) カーボンブラシをブラシホルダから取出します。

〈組立〉



警告

- ・カーボンブラシを交換して組立てる場合は、下記の組立方法に必ず従ってください。万一、内部配線類が回転子(アマチュア)に接触していたり、ハンドルカバーでかみ込んでいるような場合は、感電の恐れがあるので十分注意してください。



注意

- ・カーボンブラシを交換する際は、交換に必要な部品以外には触れないでください。

- (1) カーボンブラシをブラシホルダの中に入れ、最大限に押し込んだ状態で図 13 のようにブラシターミナルを挿入します。
- (2) カーボンブラシを押さえながらブラシホルダをハウジングに挿入します。
- (3) 内部配線類が図 14 のように正規の位置にあること、また内部配線類が回転子(アマチュア)に接触する危険がないことを十分確認してください。
- (4) 内部配線類がハウジングとの間にかみ込まれないよう十分注意してハンドルカバーをかぶせ、小ねじを締付けてください。

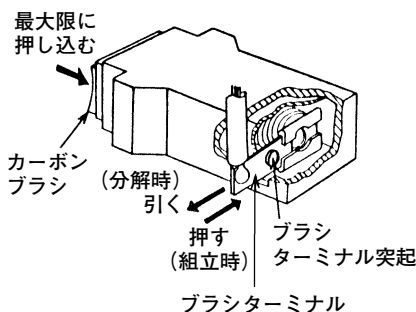


図 13

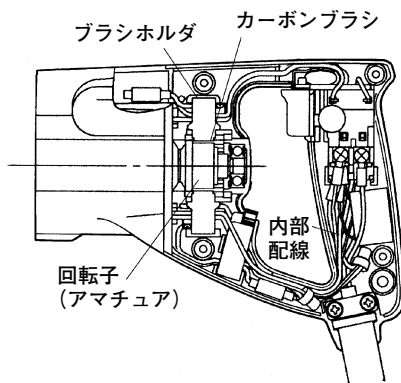


図 14

4. モーター部の取扱いについて……………

モーター部の巻線部分は本機の心臓部ともいえます。巻線部分にキズをつけたり洗油や水をつけたりしないよう十分注意してください。

注

・モーター内部にごみやほこりがたまると、故障の原因になります。

50 時間ぐらい使用しましたら、モーターを無負荷運転させて、湿気のない空気をハウジングのスイッチ側の風穴から吹き込んでください。ごみやほこりの排出に効果があります。

5. 表面のよごれの清掃……………

本機の外枠は強じんな合成樹脂製ですが、ガソリン、シンナー、石油、灯油類を付着させると表面を傷めます。

清掃の場合は、乾いた布か石けん水をつけた布などでふいてください。

6. 製品や付属品の保管……………

使用しない製品や付属品の保管場所として、下記のような場所は避け、安全で乾燥した場所に保管してください。

- | | | | |
|---|--|---|---------------------|
| { | <ul style="list-style-type: none">○ お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる場所○ 軒先など雨がかったり、湿気のある場所○ 温度が急変する場所○ 直射日光の当たる場所○ 引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所 | } | このような場所
には保管しない。 |
|---|--|---|---------------------|

ご修理のときは

修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。
転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、お近くの営業拠点へ
お問い合わせください。

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号(NO.)などを下欄にメモしておかれますと、
修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年 月 日	製造番号(NO.)
販売店(TEL)		

全国営業拠点

お客様相談センター ※土・日・祝日を除く 9:00~17:00

●フリーダイヤル



0120-20-8822

※携帯電話からはご使用になれません。
携帯電話からはお近くの営業拠点にお問い合わせください。

※長くお待ちする場合があります。
お急ぎのときは、お近くの営業拠点に直接お問い合わせください。

●営業本部	●北陸支店
TEL (03) 5783-0626	TEL (076) 263-4311
●北海道支店	●関西支店
TEL (011) 896-1740	TEL (0798) 37-2665
●東北支店	●中国支店
TEL (022) 288-8676	TEL (082) 504-8282
●関東支店	●四国支店
TEL (03) 5733-0255	TEL (087) 863-6761
●中部支店	●九州支店
TEL (052) 533-0231	TEL (092) 621-5772

- 営業所の移転等により、上記電話番号に連絡がとれない場合は、
下記のアドレスにアクセスすることで、最新の全国営業拠点
をご確認いただけます。

<http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/sales.html>

WEBに
アクセス



右のQRコードをバーコードリ
ーダー機能付きの携帯端末より
読み取ることで、最新の全国営
業拠点をご確認いただけます。



〒108-6020 東京都港区港南2丁目15番1号(品川インターシティA棟)

営業本部 TEL (03) 5783-0626 (代)

電動工具ホームページ—<http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/>

400

部品コード C99074403 N